



2020年12月期 通期決算説明会資料

2021/02/25

株式会社Welby
(証券コード 4438)

目次

1 会社概要

2 2020年12月期業績

3 今期重点取組施策進捗

4 今後の成長

5 参考資料



“Empower the Patients”

患者が、自ら情報を得て、自ら行動して、自ら判断する



PHR (Personal Health Record) のリーディングカンパニー

会社名	株式会社Welby (Welby Inc.)
設立	2011年9月20日
主要事業	医療機器及び関連ソフトウェアの製造・販売・運用 (医療機器製造販売許可業)
医学顧問	自治医科大学 小谷和彦教授、他各領域専門医20名以上
主要顧客	アストラゼネカ株式会社、中外製薬株式会社、アステラス製薬株式会社、日本イーライリリー株式会社、マルホ株式会社、第一三共株式会社、武田薬品工業株式会社、徳島大学病院など医療機関多数
提携・連携	株式会社デジタルガレージ、日本郵政株式会社、株式会社スズケン、株式会社インテージヘルスケア 等

主な提携/連携パートナー



主な提携/連携パートナー

医療機器製造販売業 第二種
情報セキュリティマネジメントシステム
(ISMS) の国際規格ISO27001認証



IS646329 / ISO27001

【臨床研究】
徳島大学 (糖尿病)
自治医科大学/国分寺さくらクリニック (高血圧)
名古屋大学 (慢性腎臓病)
大阪市立大学 (非アルコール性脂肪肝炎)
聖マリアンナ医科大学病院 (胃がん)

総務省 戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE)

「治療アプリ」として、PHRを処方する時代に

～医療機関にて患者に疾患別アプリを紹介：糖尿病、高血圧、がん 等～

1 医師が患者にアプリを紹介

クリニック専用パンフレットで案内
クリニック専用アプリを提供



2 患者自身がかんたん記録

バイタル / 食事 / 運動 / 処方(QRコード) /
検査値(QRコード)等測定機器と連動

Bluetooth® HRジョイント。



4 療養指導を効率的/効果的に 患者の治療が継続

治療継続・効率化

アウトカム改善



3 データをグラフ化、印刷 データは医療機関と共有

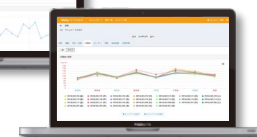
医療機関の
PC / タブレット等で確認



食事管理



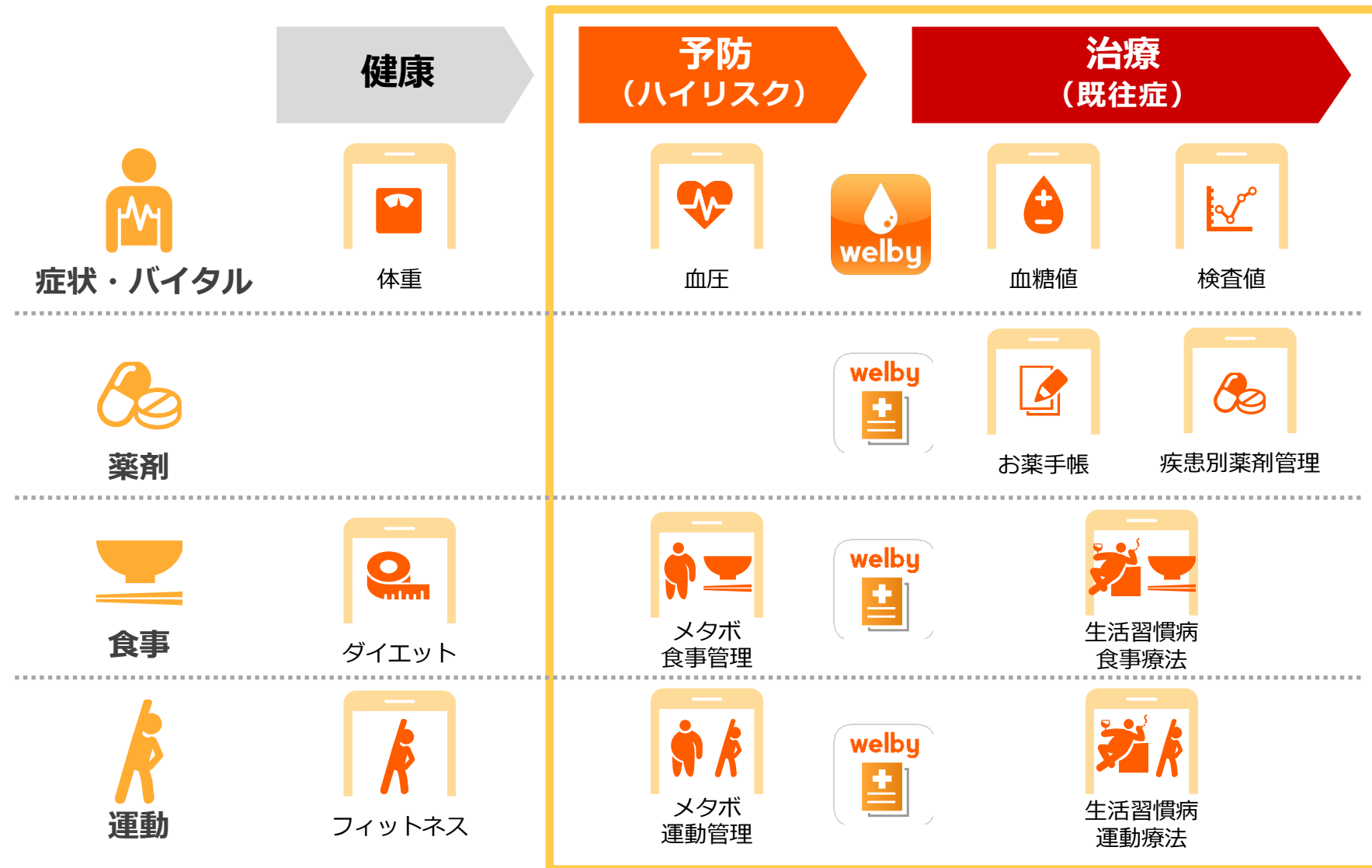
血圧・体重

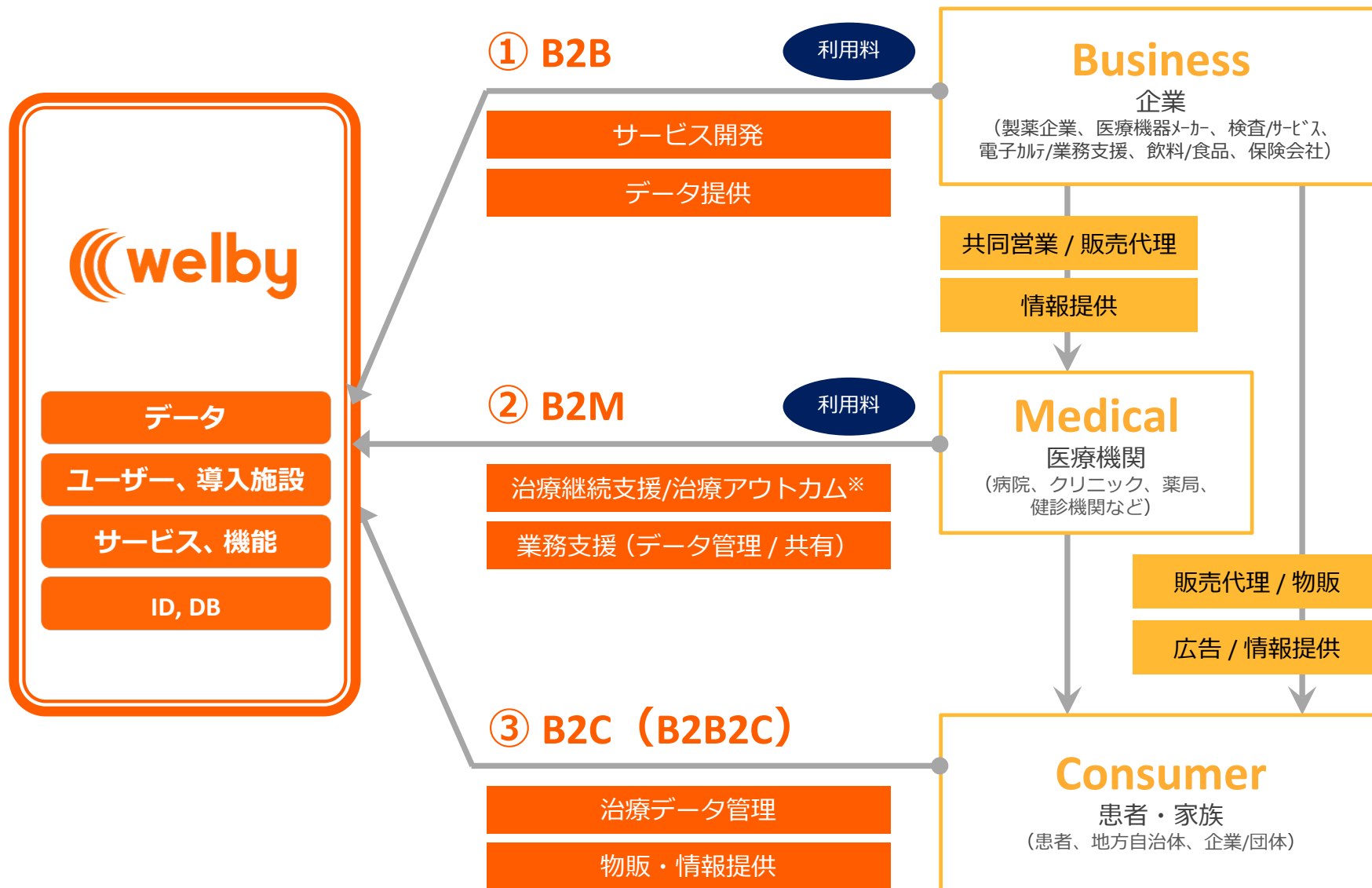


血糖値



治療領域に特化したPHRプラットフォームサービス





※治療や予防などの医学的介入から得られるすべての結果のことを指す。
臨床研究においては、介入効果によって得られる判定項目をアウトカムという。

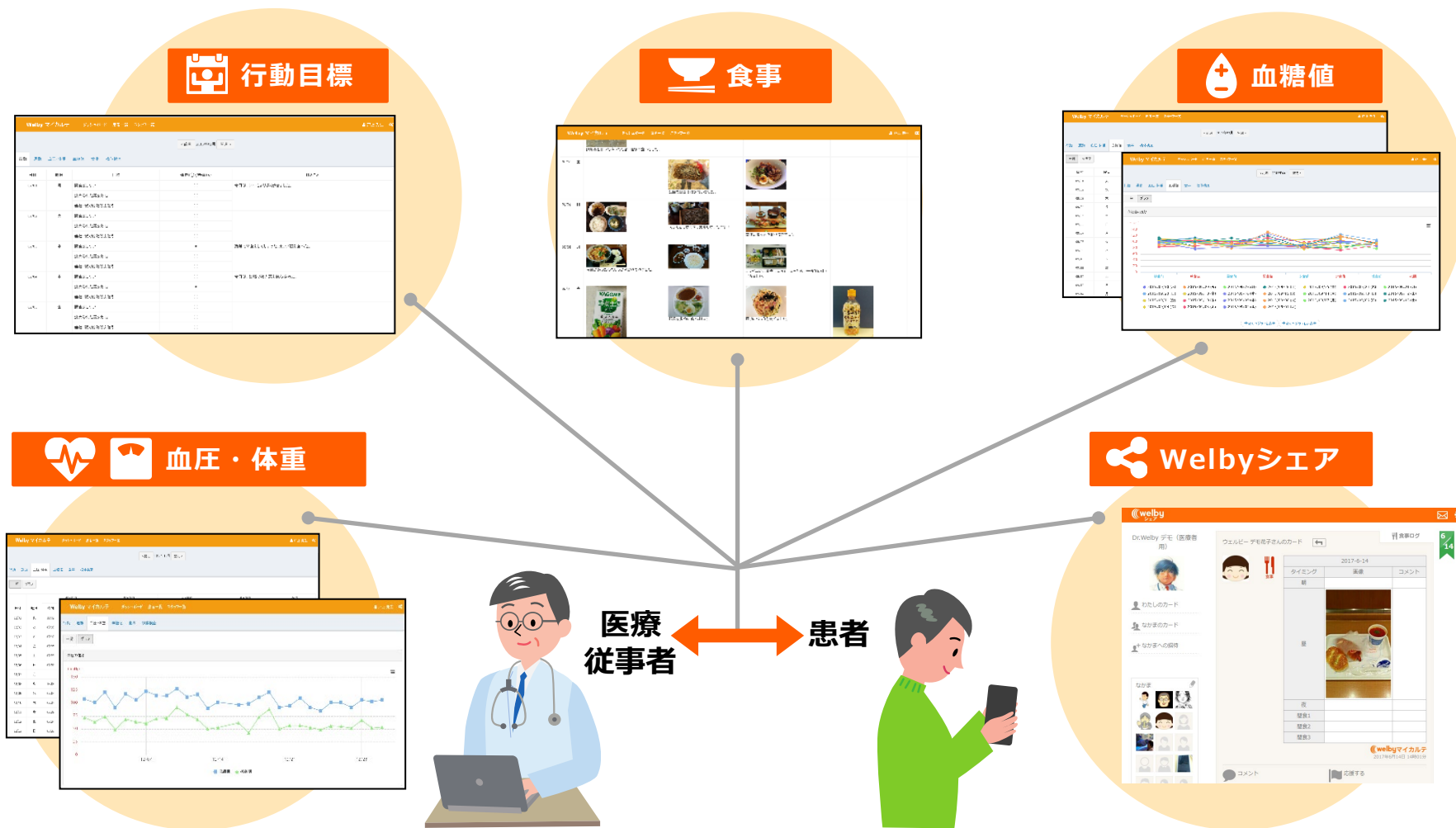
「Welbyマイカルテ」

～生活習慣病（糖尿病/高血圧症）向けPHR～

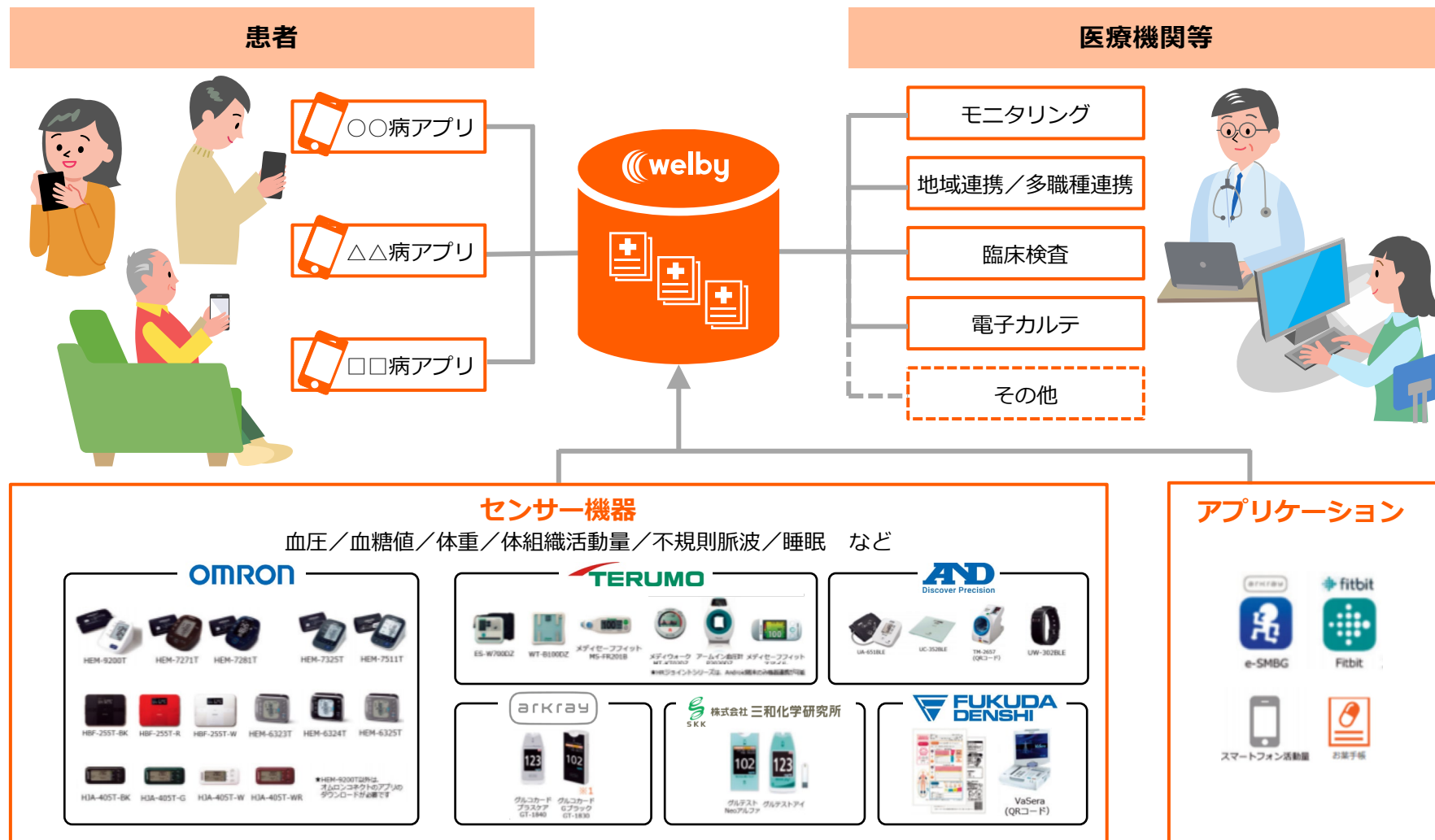


記録内容・方法	測定項目
行動（生活習慣の目標管理/ToDo）	行動目標達成率
運動（歩数/距離） 活動量計と連携	歩数(歩) / 距離(km) / 消費カロリー
体重 体組成計と連携	体重 (kg)
血圧（血圧/脈拍） 血圧計連携	血圧 (mmHg) / 脈 (拍/分)
血糖値 血糖測定器連携	血糖値 (mg/dl)
おくすり 電子お薬手帳/ 処方箋QRコード	服薬記録
食事 スマホ・カメラ利用	食事の写真
睡眠 活動量計と連携	睡眠時間 / 睡眠強度
血管年齢 QRコード利用	CAVI
検査値 検査データ連携/ QRコード利用	HbA1c / コレステロールなど

患者のデータ(PRO: Patient Reported Outcome)を医療従事者がリモートで管理患者と食事の写真やデータを見ながら遠隔でコミュニケーション



各種医療サービス・機器と連携可能な患者起点のデータプラットフォーム



目次

1 会社概要

2 2020年12月期業績

3 今期重点取組施策進捗

4 今後の成長

5 参考資料

COVID-19への対応

- ・新型コロナウイルス対策WEBチェック/情報共有ツールを企業 & 医療機関に提供開始
- ・PHRを利用した対面/オンライン診療向け個人情報管理機能をリリース

製薬企業スポンサーの新たな疾患領域のアプリリリース

- ・アストラゼネカ(株)との戦略的パートナーシップ : 共同でPatient Support Program開発
-第一弾として肺がん向けPHR「Tダイアリー」
- ・アステラス製薬(株)との過活動膀胱でのPHRサービスをリリース、学会ガイドラインに
- ・中外製薬(株)とがん患者治療支援PHRサービスにおいて適正使用に向けた取り組みを開始

自社プラットフォームの開発、強化

- ・「Welbyマイカルテ」に睡眠管理機能追加により、“睡眠の見える化”可能に
- ・がん領域向けPHRプラットフォーム「WelbyマイカルテONC」一般公開、臨床研究開始
- ・「Welbyマイカルテモール」 サービスを開始

有力なプレイヤーとのアライアンス拡大

- ・フクダ電子(株)と提携 : 医療機関向けデータ管理で測定機器・検査データとPHR連携
- ・(株)インテージヘルスケアと提携 : PHRとePRO事業での拡大
- ・大同生命保険(株)と提携 : PHRと生命保険の協働による新たなサービスの提供
- ・アフラック生命保険(株)と提携 : がん患者向けサポートを拡充

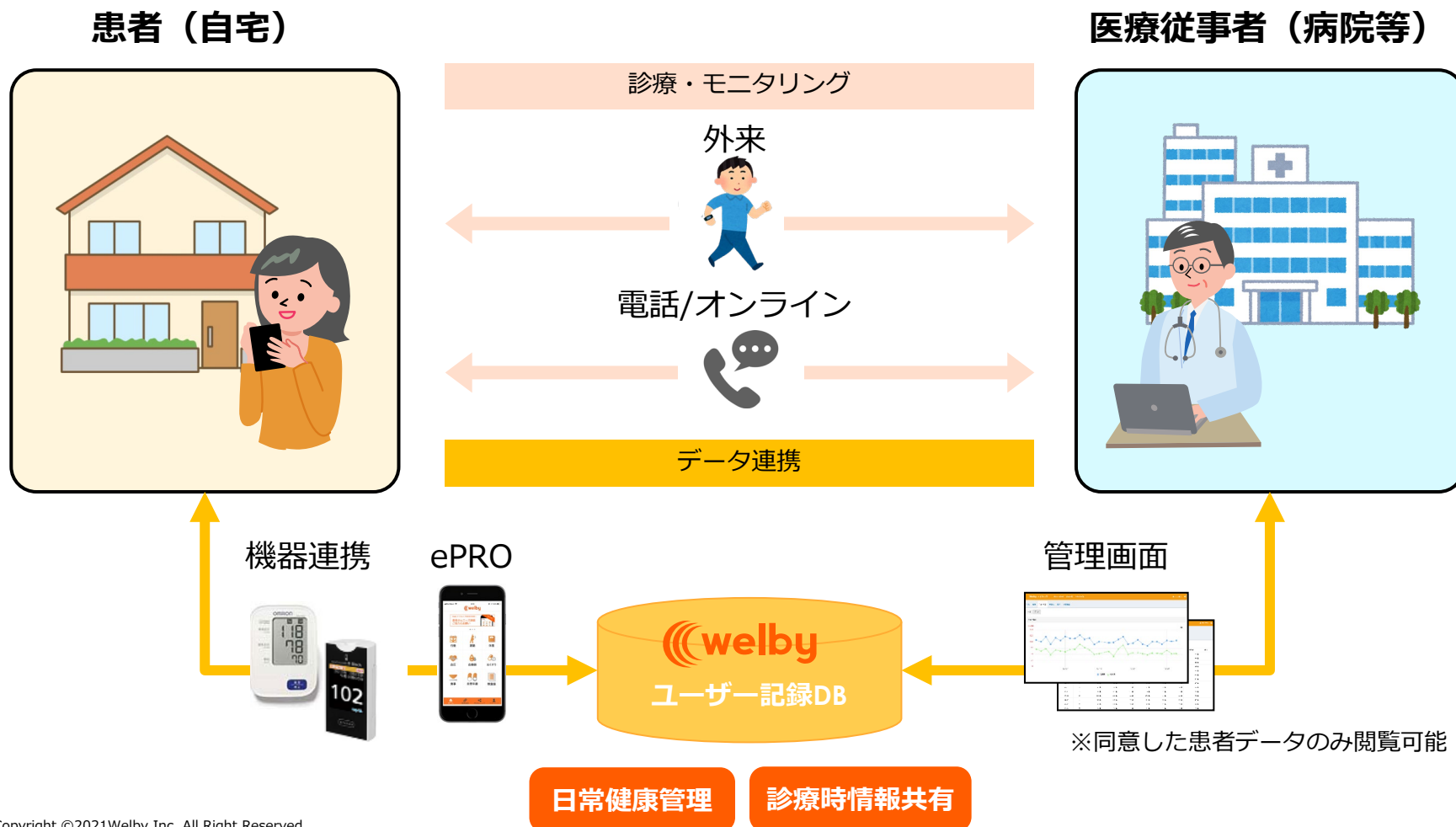
2020年4月より新型コロナウイルス対策WEBチェック・情報共有ツールを提供 企業・医療機関の従業員、医療従事者の健康状態把握を支援

【WEBチェック項目】

- ・ 体温
- ・ 症状のモニタリング（せき、喉の痛み、倦怠感、息苦しさ等）



遠隔・在宅での患者への診療及びモニタリングにあたり、PHRで患者が記録したデータ(PRO: Patient Reported Outcome)を医療従事者と連携することにより、医療機関—患者間のコミュニケーションがオンライン・外来で利用

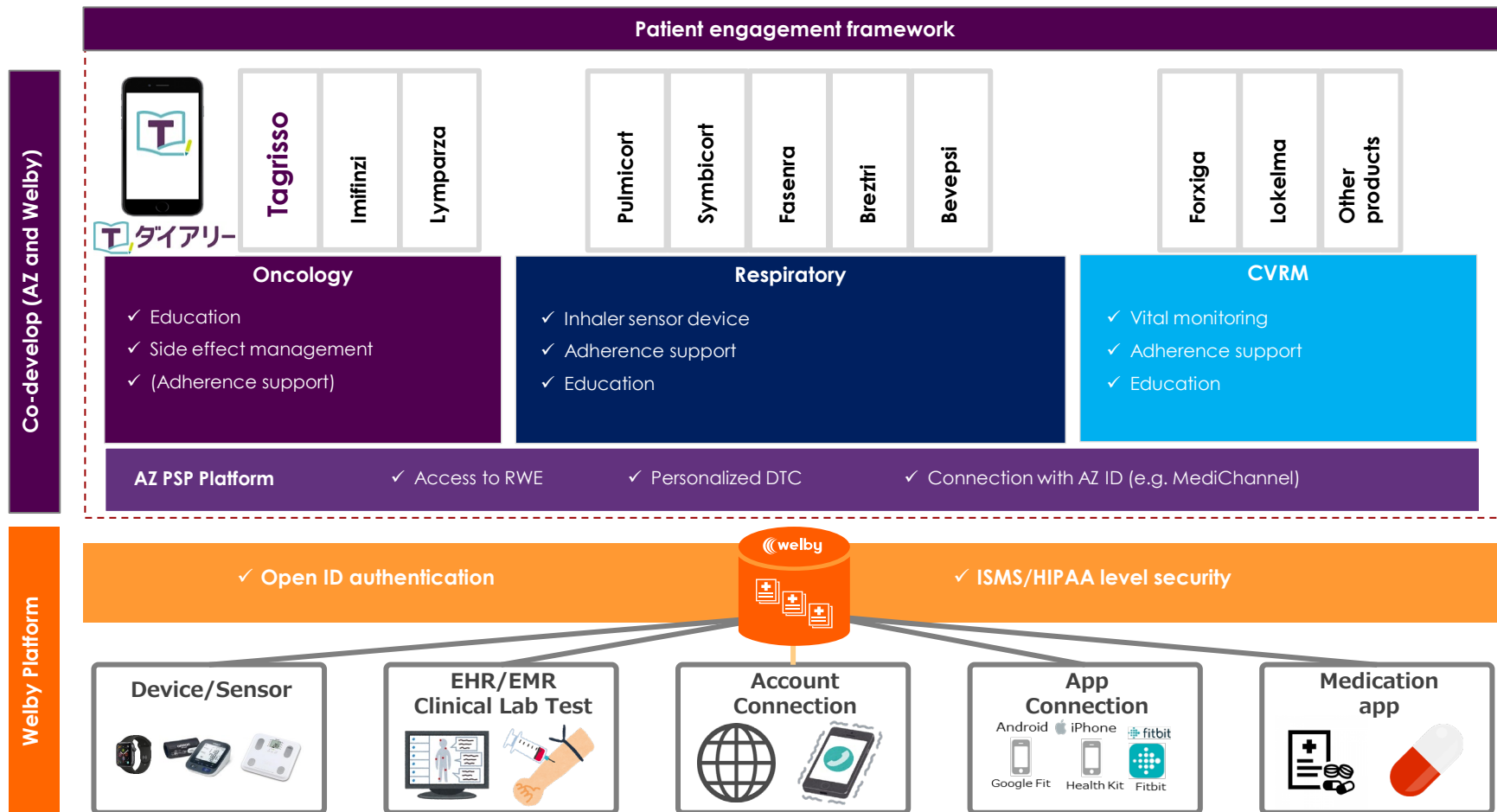


アストラゼネカ(株)とPHRをベースにしたデジタル活用を推進する 戦略的パートナーシップ契約を締結



デジタルプラットフォームを通じて、患者さんの治療をより効果的で安心できるものに

Build AZ PSP (Patient Support Program) Platform



夜間頻尿に対する行動療法（塩分制限）の改善サポートが期待できるアプリケーションとして「ユーサポ」が夜間頻尿ガイドライン[第2版]に掲載



- 1 1日3食×3日間の食事を記録
- 2 食生活に合わせた改善アドバイス提案
- 3 励ましコメントを受けながらアドバイスを実践【振り返り】
 - ・改善アドバイス実行有無
 - ・過活動膀胱の症状チェック
 - ・服薬記録

- ✓ その他機能
- ・尿検査値のからの塩分推計

夜間頻尿
診療ガイドライン
[第2版]

編集:日本排尿機能学会
/日本泌尿器科学会

～両社アセットの活用により、PHRとePRO事業の拡大を目指す～

welby & intage ソリューション

ePROシステム開発・運用

PHR/PRO
活用企画

試験企画

体制構築

システム企画

システム構築

保守・運用
データ収集
レポート

マーケティング
エビデンス普及

- PHR/PRO事例調査
- Product目的検討
- 機器選定等

- CRO選定
- EDC選定
- 1-サポート体制構築
- 機器運用体制構築

- キックオフ
- 役割分担確認
- データフロー整備
- トラブルシューティング

- 利用シーンデザイン
- 仕様調整
- 要件定義

- 開発/テスト
- データ連携構築
- システム説明書作成
- QA作成

- システム保守・運用
- コールセンター
- 機器等キitting
- 配送管理
- トラブル対応

- エビデンスに基づくPHRソリューションの開発
- マーケティング企画
- プロモーション支援



リサーチ



コンサルテーション



ePRO活用コンサルティング

PHR/PRO収集システム構築・運用

研究デザイン～実施体制構築等

研究サポート～ライティング

大同生命-Welby：PHRサービスと生命保険の協働 (2020/8/21プレスリリース)



- 糖尿病や高血圧症などの生活習慣病の治療支援

「Welbyマイカルテ」利用者の生活習慣病の改善・重症化予防効果の調査・分析など



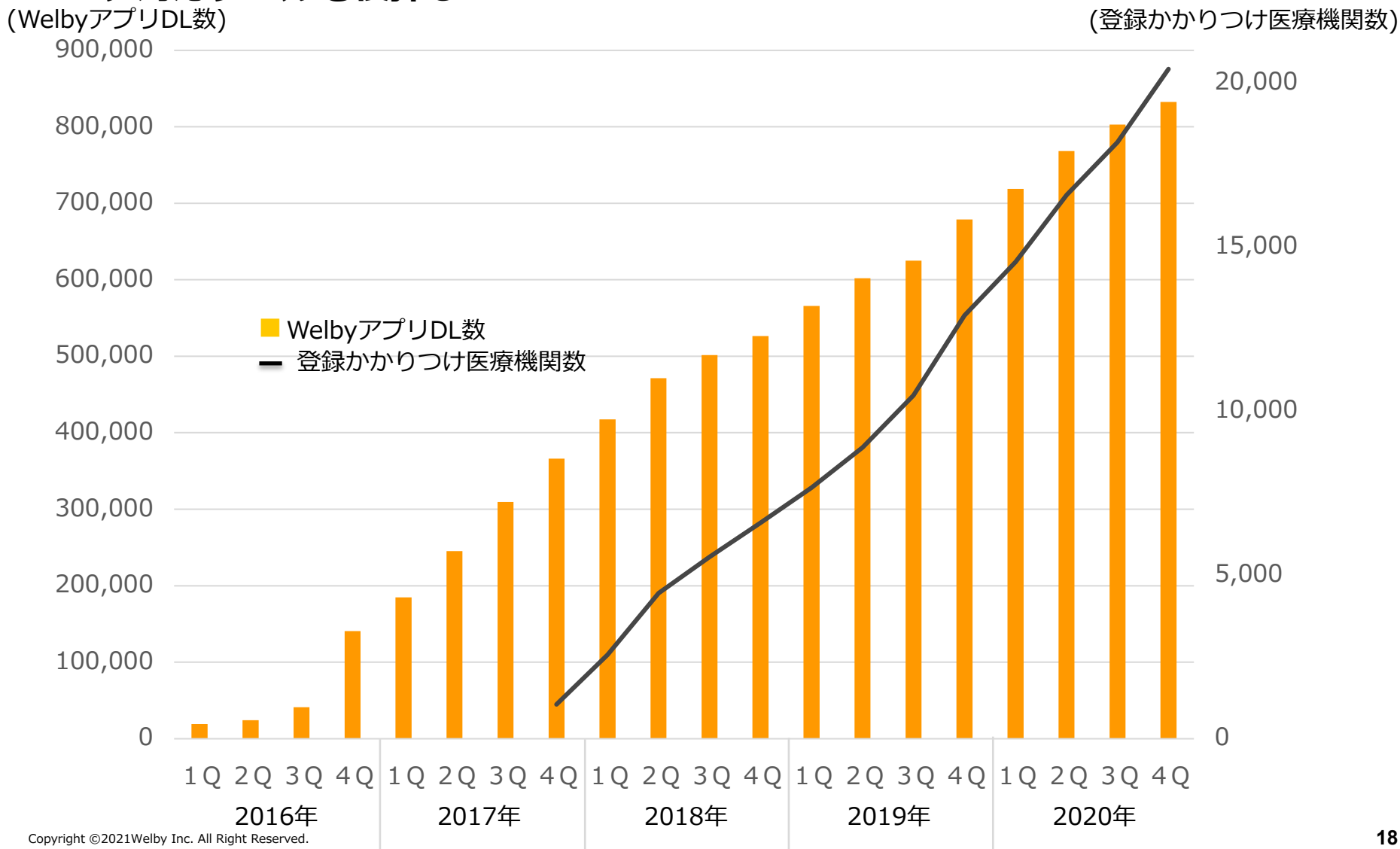
- 中小企業向け保険商品・サービスの提供
- 中小企業における健康経営の普及支援

生命保険の引受拡大に合わせた「Welbyマイカルテ」の利用促進など

生活習慣病の改善支援サービスや新たな保険商品の開発、
中小企業への健康経営支援策等を協働で検討

「人々の健康で豊かな社会づくり」への貢献

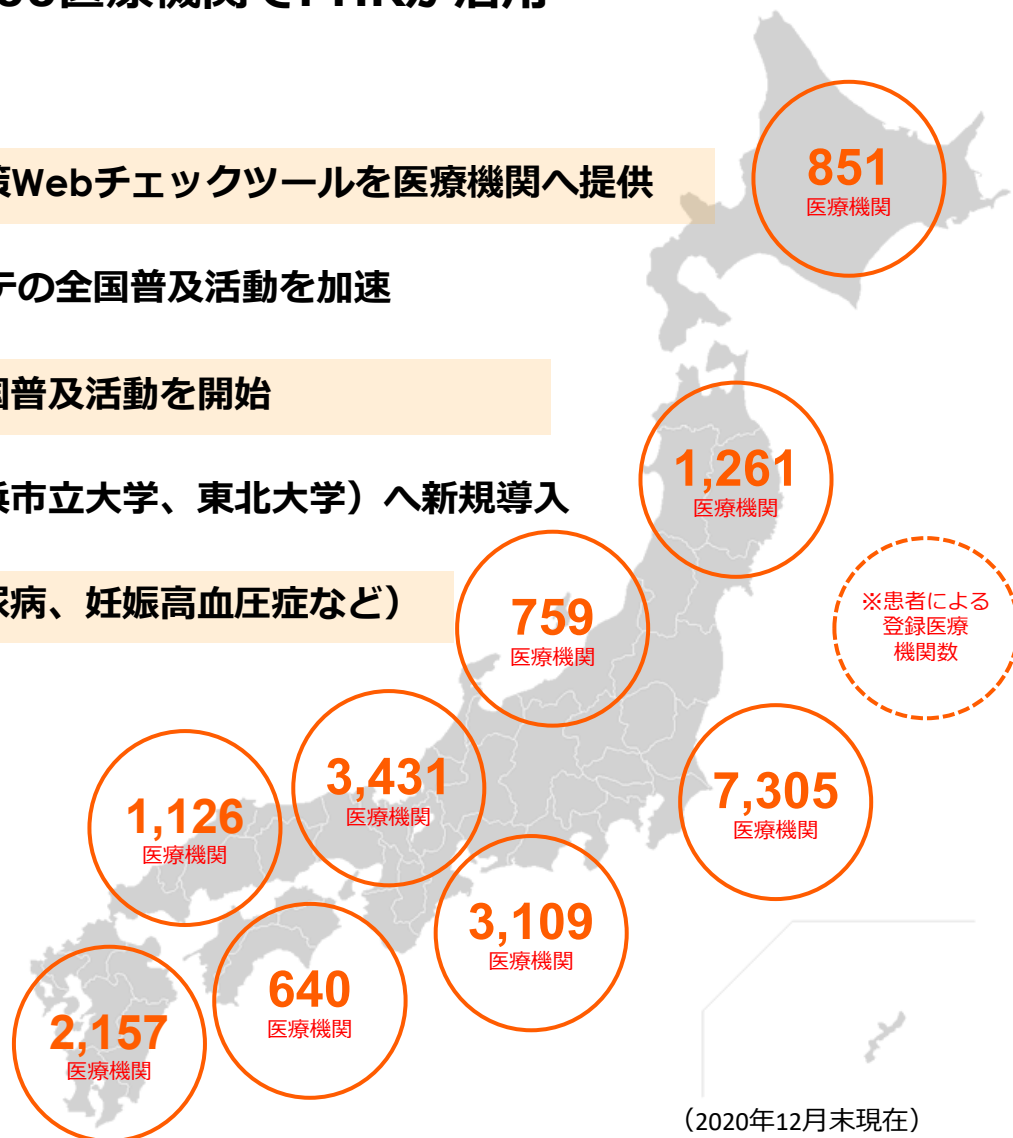
2020年12月末現在でアプリDL83万人超、登録かかりつけ医療機関数は2万超 コロナ対応ツールも後押し



医療従事者と患者の利用価値向上に取り組み、 大学病院、クリニックなど約20,600医療機関でPHRが活用

【2020年度の主な取り組み】

- ・ Welbyマイカルテ新型コロナウイルス対策Webチェックツールを医療機関へ提供
- ・ スズケンとの営業連携でWelbyマイカルテの全国普及活動を加速
- ・ フクダ電子とのサービス連携を伴った全国普及活動を開始
- ・ 大学病院（京都大学、獨協医科大学、横浜市立大学、東北大学）へ新規導入
- ・ 活用領域、診療科の一層の拡大（妊娠糖尿病、妊娠高血圧症など）



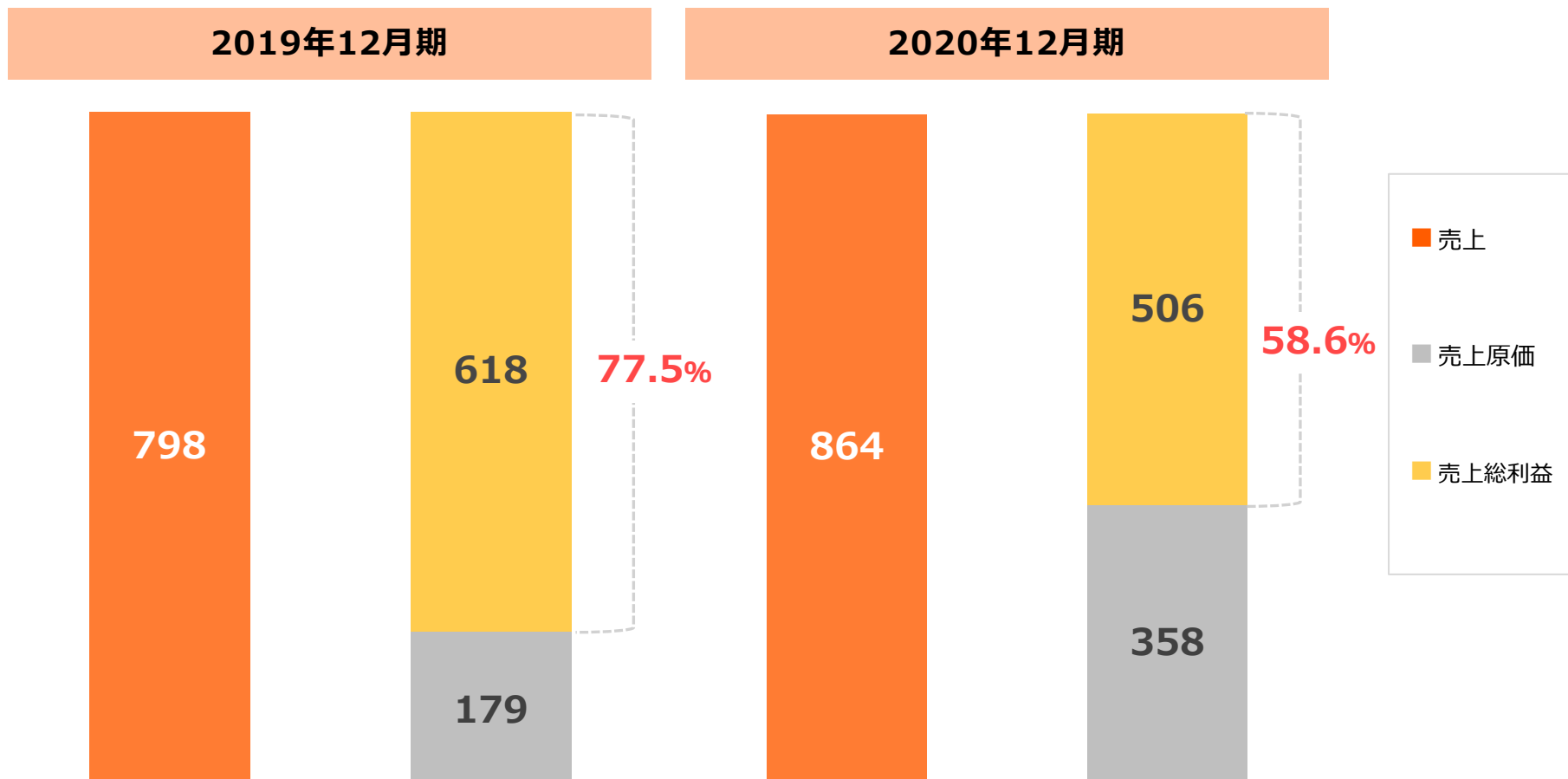
売上高は前期比+8.3%の増収、新型コロナによる受注遅延などの一部影響あり
営業利益は事業拡大に向けた人件費増などにより▲254M

(単位：百万円)

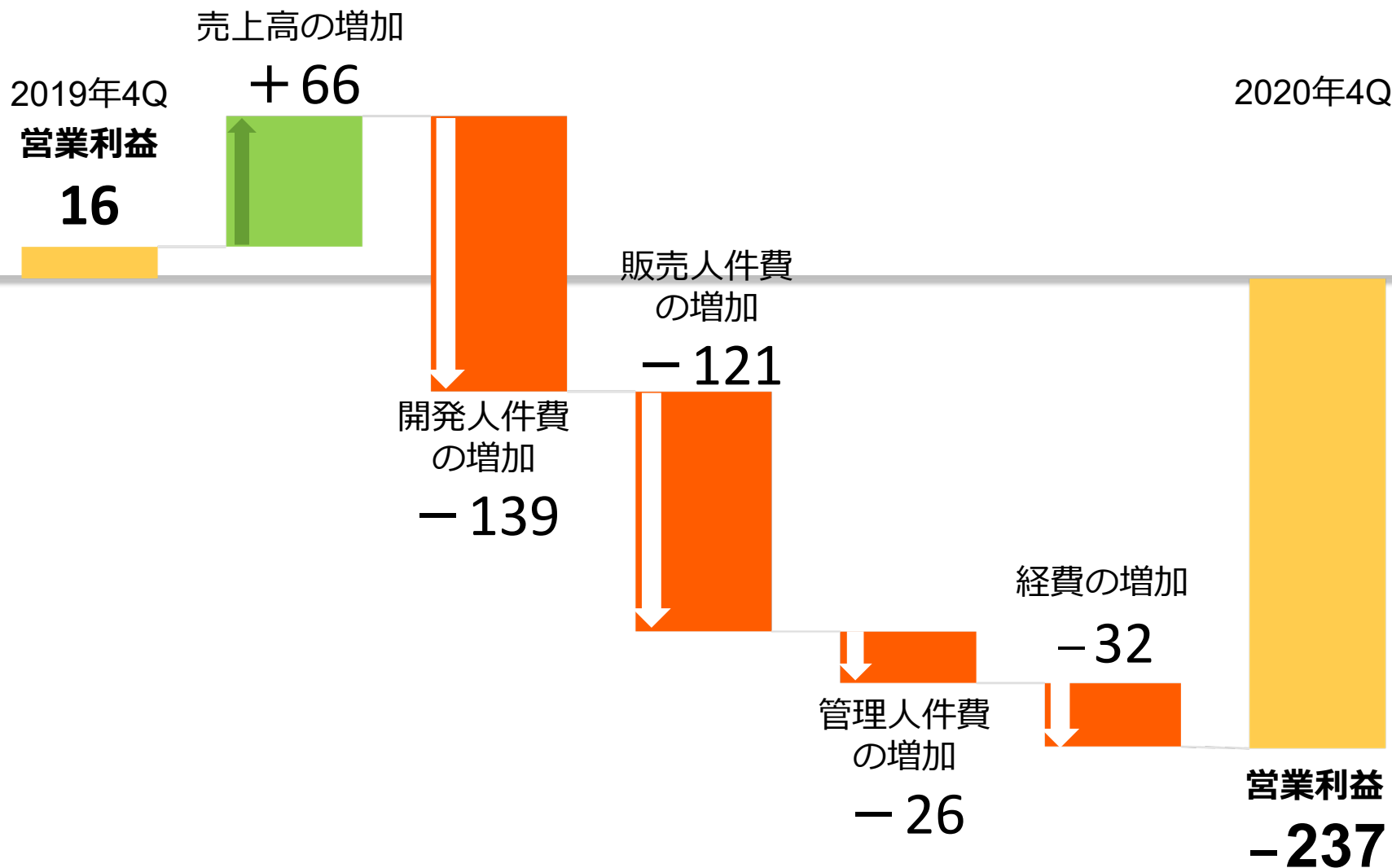
	2020年 12月期実績	2019年 12月期実績	増減額	増減率	2020年 12月期予想
売上高	864	798	+66	+8.3%	1,217
(疾患ソリューション事業)	670	624	+46	+7.5%	971
(マイカルテ事業)	193	174	+19	+11.1%	245
営業利益	-237	16	-254	-	112
(利益率)	-27.5%	2.1%	-29.6%	-	9.3%
経常利益	-237	-1	-236	-	112
当期純利益	-353	-11	-341	-	78

主にマイカルテ強化のための投資による売上原価増加や、売上原価と販管費の区分変更により売上総利益率低下

(単位：百万円)



事業成長のため各分野での人件費を中心とした投資を一層強化



流動資産減は売掛金の決済タイミングが主、固定資産減は減損損失の影響

(単位：百万円)

BS

	2020年 12月期	2019年 12月期	増減額
流動資産	1,461	1,679	-217
固定資産	58	149	-91
資産 合計	1,520	1,829	-309
流動負債	147	138	+8
固定負債	15	22	-7
負債 小計	162	160	+1
純資産	1,342	1,668	-325
純資産 小計	1,357	1,668	-310
負債・純資産 合計	1,520	1,829	-309

CF

	2020年 12月期	2019年 12月期	増減額
現預金の期首残高	1,208	1,031	+176
営業キャッシュ・フロー	-110	-168	+57
投資キャッシュ・フロー	-19	-83	+64
財務キャッシュ・フロー	19	429	-409
現預金の期末残高	1,098	1,208	-110

目次

1 会社概要

2 2020年12月期業績

3 今期重点取組施策進捗

4 今後の成長

5 参考資料

疾患ソリューション事業

- 製薬企業向け疾患領域別PHRのOEM開発の更なる拡大（30+疾患領域をカバー）
- 疾患領域別PHRの医療機関・患者への臨床現場での普及、プラットフォーム化の推進
- 臨床研究向けデータソリューションを強化：パートナーシップでのサービス強化・拡販

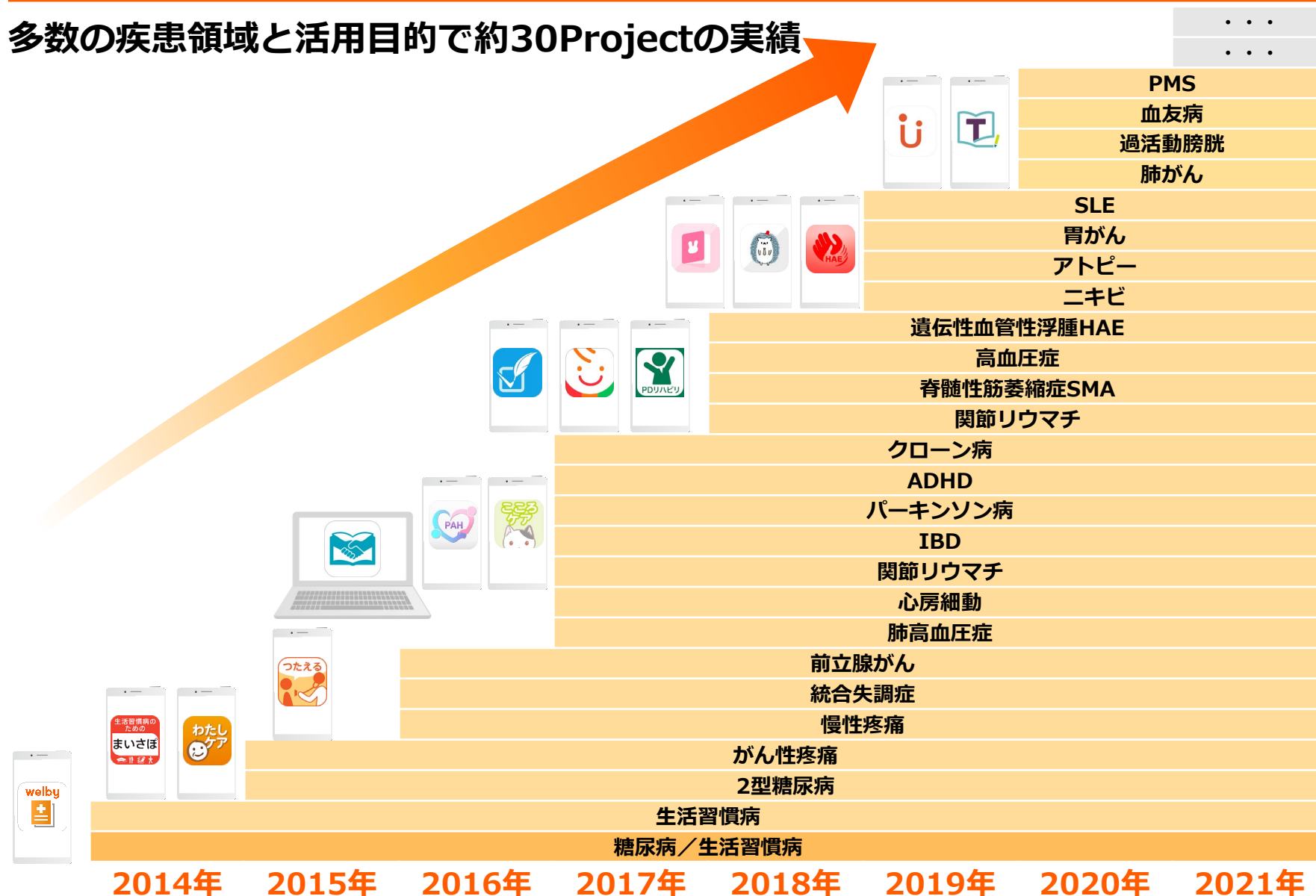
マイカルテ事業

- 「Welbyマイカルテ」のプライマリ領域（循環器領域、糖尿病領域など）での更なる普及
- 医療機関との連携を含めたPHRサービスの企業・健保組合・自治体向けB2B2Eサービスの推進
- ユーザー向けPersonalized（個別化）サービスの強化：治療サポート・食事サポートなど
- COVID-19に対応した個人・組織・医療機関のPHRでのサポートの強化

Real World Dataの事業化推進

- 個人IDでデータを連携させるReal World DataのDBを推進：健診+検査+処方+PROデータ
- PHRプラットフォームをB2B、B2M、B2B2Eで共通基盤として収益化を図る
- 収益基盤をスポンサードPHR開発/利用に加えて、PHRサービス利用・データ利用のSaaS/PaaS型事業+DTCの拡大を図る

多数の疾患領域と活用目的で約30Projectの実績



「WelbyマイカルテONC」

～悪性腫瘍疾患向けPHR～ がん拠点病院にて導入済み



“Empower the Patients”

患者が、自ら情報を得て、自ら行動して、自ら判断する



わたしのがん手帳アプリ

マイカルテONC

無料



Powered by



①がん症状の「見える化」、②情報アクセス機会の提供によりがん患者さんの治療アウトカム向上

課題

患者さん

知識・理解の不足

記録ツールの不足

経過を伝えられない

医療従事者

問診だけで患者さんの院外情報を把握することが困難

患者教育を十分に行えない

製薬企業

患者さんに適切な情報を届けられない

「WelbyマイカルテONC」による期待効果



マイカルテONC利用ユーザーの臨床研究参加（同意取得管理）及び参加試験毎にData出力・他のシステムとの連携が可能になる仕組みを実装

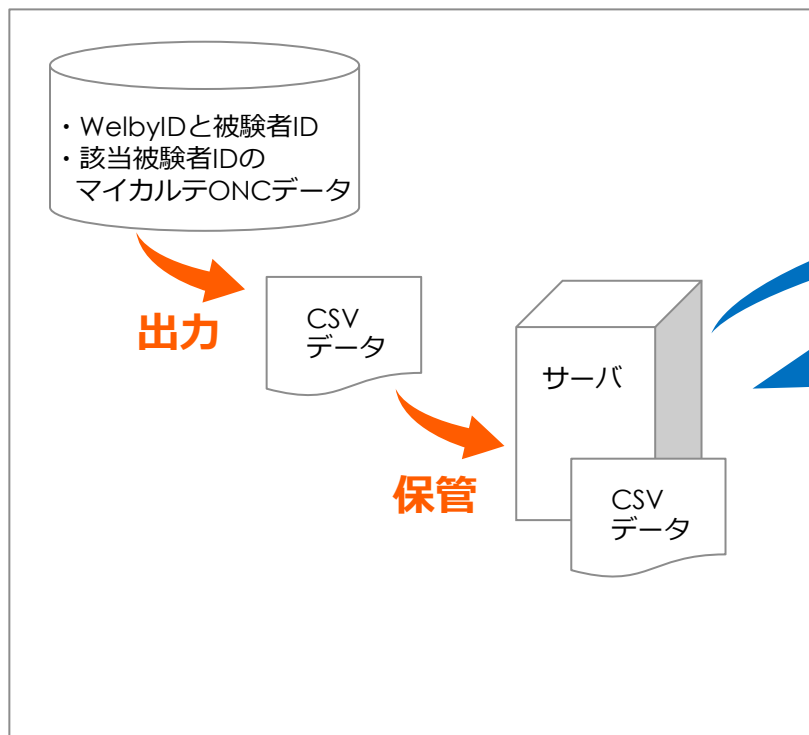
1 同意取得機能



被験者登録



2 同意取得DataをCSV出力・保管機能



3 Data連携



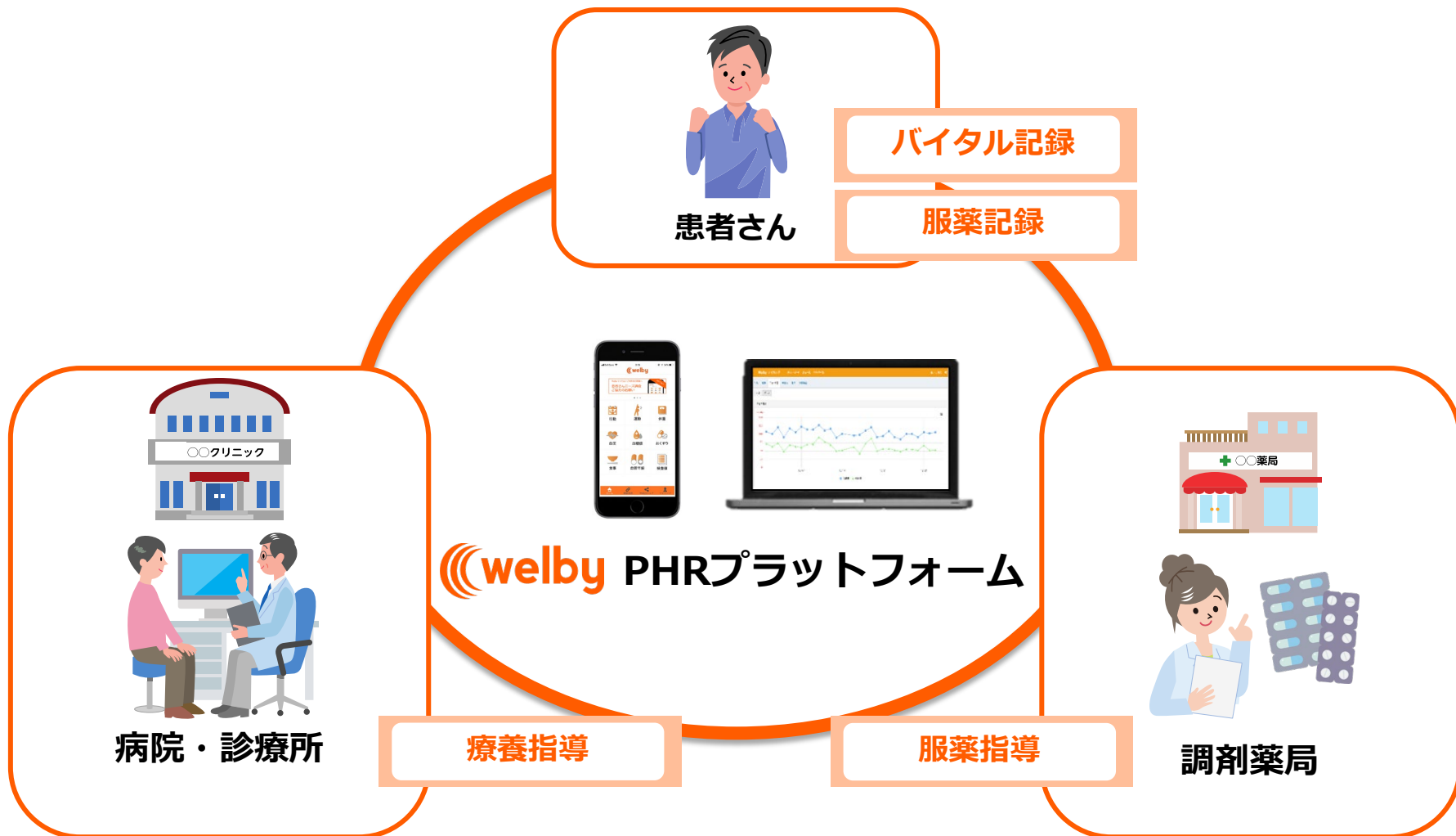
※ オレンジ字：Welbyの仕組み
※ 青字：連携先システムの仕組み

メニュー



医療機関における横断的なデータ連携プラットフォームへ

PHRプラットフォームを病院・クリニック・調剤薬局での連携に提供し、患者さんへの病院・診療所での療養指導の質向上だけでなく、調剤薬局での服薬指導や地域連携といった総合的なプラットフォーム化を目指す



企業・健保組合の従業員向けにライフログとしてPHRを提供、普及

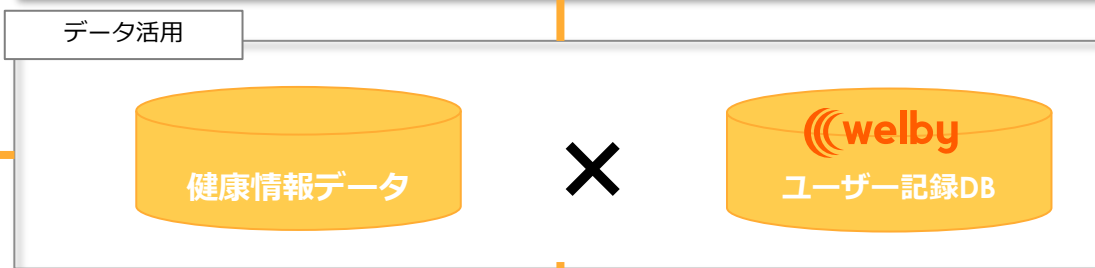
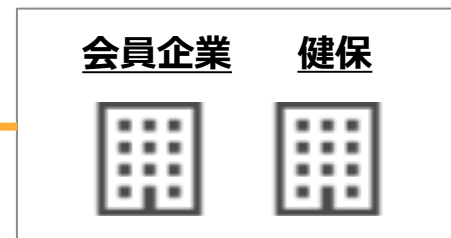
最適な情報・コンテンツを
セグメント配信



従業員の
生活習慣の改善と
サービス満足度の向上



健康ポイント (Welbyポイント交換)



目次

1 会社概要

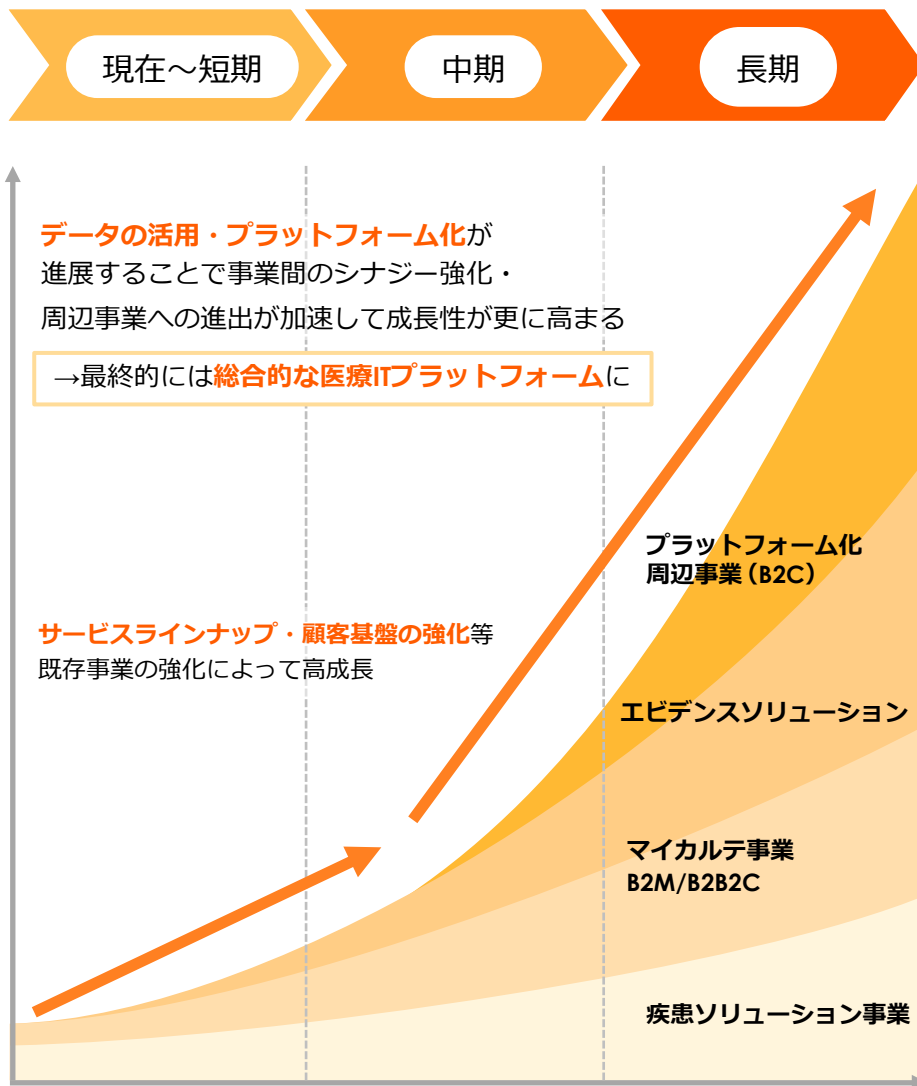
2 2020年12月期業績

3 今期重点取組施策進捗

4 今後の成長

5 参考資料

既存事業で拡大しつつ、以下三分野で更なる強化を図る



中期～長期

✓ エビデンスソリューション

RWD (Real World Data) の活用：患者レジストリ、医薬品の開発、臨床研究、市販後調査など

✓ 疾患領域別プラットフォームの推進

オンコロジー等での疾患領域プラットフォームの開発

✓ B2C向けPersonalizedサービス（長期）

個人向けDTCサービス（疾患情報提供）、B2Cサービス（物販、コーチング）、などPHRプラットフォームサービスの価値向上による収益機会の獲得

現在～短期

✓ 疾患ソリューション事業：

PHR適用対象疾患、対象薬品の拡大による収益拡大（マーケティング支援）

✓ マイカルテ事業：

医療機関向け+企業・健保向けソリューションによる収益拡大

サービスのパーソナライズ（個別化）

- 患者/個人にあったサービス、情報、プロダクトを提供
- 自社/スポンサードで開発された個別PHRからのDataの利活用のプラットフォームを確立させる： 普及～同意取得～Personalized

データポータビリティの促進

- 個人のPHRデータが紐づけられて各個人が管理できること
- 個人IDでデータを連携させるReal World DataのDBを推進：
健診データ+検査データ+処方データ+PROデータ

事業のPaaS化の加速

- PHRプラットフォームをB2B、B2M、B2B2Eで共通基盤として収益化を図る
- 収益基盤をスポンサードPHR開発/利用に加えて、PHRサービス利用・データ利用のSaaS/PaaS型事業+DTCの拡大を図る

RWD (Real World Data) の活用による事業拡大

～メディカルマーケティングから、RWDによる新薬開発・研究に活用～

マーケティング利用



- ✓ 症状記録 (日記)
- ✓ 患者・医療者連携
- ✓ 患者教育ツール (Web連携)
- ✓ 服薬リマインダ・記録
- ✓ 早期検知・介入サポート

既存事業

医薬品の開発・研究に利用



- ✓ PRO (Patient Reported Outcome) の医療での活用
- ✓ ウェアラブルを活用した臨床研究
- ✓ 長期にわたる観察研究
- ✓ 市販後調査
- ✓ 医薬品の開発、適応拡大

新規事業

目次

1 会社概要

2 2020年12月期業績

3 今期重点取組施策進捗

4 今後の成長

5 参考資料

財務ハイライト

回次		第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
決算年月		2016年12月	2017年12月	2018年12月 [※]	2019年12月 [※]	2020年12月
売上高	(千円)	253,464	474,753	808,005	798,516	864,644
経常利益又は 経常損失 (△)	(千円)	△136,122	△76,092	153,959	△1,354	△237,404
当期純利益又は 当期純損失 (△)	(千円)	△136,412	△76,963	176,566	△11,303	353,093
資本金	(千円)	178,900	684,900	684,900	903,050	916,650
発行済株式総数	(株)					
普通株式		1,460	1,680	1,855,000	7,784,800	7,832,800
A種優先株式		175	175	—	—	—
純資産額	(千円)	131,726	1,066,763	1,243,330	1,668,327	1,357,539
総資産額	(千円)	211,416	1,227,179	1,406,481	1,829,182	1,520,139

※当社は2018年3月30日付で1株につき1,000株に分割し、2019年10月4日付で1株につき4株に分割しました。

本資料の取扱いについて

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な経済動向に関する統計情報及び調査結果、外部情報に由来する他社の情報が含まれています。当社は、これらの情報に由来する情報の正確性及び合理性について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもその正確性及び合理性を保証するものではありません。

